

V

学生支援

推進分野の背景と方向性

日本の教育施策の転換によって、学生個人の考え方や大学における学生生活のあり方もさらに変化することが予測される。入学後の学生生活への適応やメンタルヘルスへの影響を減らすため、今後は学生同士の交流の場を提供することがさらに重視され、学生の主体的な活動に対する支援が求められる。本学ではこれから先の未来に向け、「UMEMURA VISION 2033」に示す学生の目指す人間像の実現のため、すべての学生が充実した学生生活を過ごすことができるよう、最適な学生支援活動を行うための全学的な体制の整備をソフト面・ハード面で進めていく。

正課外活動の活性化を通じた建学の精神と四大綱の体现、学生のニーズに沿ったサポート、多様な学生が安心・安全で快適な学生生活を送ることのできるキャンパスづくりを進め、学生が社会性や人間性において総合的な力を発揮する有為な人材として成長するよう、継続的な支援を実施する。



推進事項 1

学生生活環境のさらなる充実

デジタル技術の活用等をはじめとした創意工夫をもって幅広く学生間の交流を促し、学生一人ひとりが活発に活動できる場を提供することや心身ともに健康で充実した学生生活を送ることができる環境の整備を進めることで学生の満足度を高める。学生の主体的な活動を支援するキャンパスづくりにあたっては、用途に応じて自由な学修や正課外活動に取り組むことのできる環境整備、必要な情報を適切に学生へ届けるシステム構築など、ソフト面・ハード面で整備を進める。

主な施策

- 1 学生の主体的な活動を促す環境整備
- 2 人と人との交流を活性化させる場の形成
- 3 学生生活に必要な情報発信体制の整備

推進事項 2

多様な学生への支援

多様な背景を持つ学生が個々の能力を十分に発揮し、快適で安全な学生生活を送ることができるよう、サポート体制の拡充と機能の強化、また施設面の充実をさらに進める。必要な支援の提供にあたっては、多様化・複雑化する学生のニーズを正確に把握した上で、それぞれの状況や背景に合わせた全学的なサポートを可能とする体制を整え、すべての学生・教職員が多様性への理解を深めて豊かな人間性を備えた人材となるよう取り組んでいく。

主な施策

- 1 全学的な多様性の理解促進と支援の推進
- 2 学生の多様性に対応可能なサポート体制の拡充と機能の強化
- 3 学生のニーズに即した経済支援制度の整備と拡充

推進事項 3

建学の精神、四大綱を体现する正課外活動の推進

体育会・文化会、大学祭実行委員会、サークル団体又は学生個人が精力的に活動できる環境の整備及び支援を行うことで本学への帰属意識（中京アイデンティティ）の向上につなげていく。学生自らの成長と自己実現を促し、挑戦を楽しむマインドの形成や他者との関わりの中で人間力を形成するなど、建学の精神の四大綱「①ルールを守る ②ベストを尽くす ③チームワークをつくる ④相手に敬意を持つ」を体现し、社会から求められる人材への成長を支援する。

主な施策

- 1 正課外活動の支援体制の再構築と活動場所の整備・新設
- 2 ボランティア活動の活性化による社会貢献
- 3 正課外活動の情報発信体制の整備